

みちのく民俗村まつり開催
園内の木々も色づいており、まさに紅葉狩りにふさわしい季節となりました。10月半ば頃あたふたと決めたみちのく民俗村まつり。準備不足も甚だしいのですが、旧菅野家住宅の茅葺補修工事に来週あたふたした秋田県・横手市の「佐藤茅葺店」さんにご協力いただいたことになり、あれやあれやとのうちに開催決定となった次第です。新型コロナウイルス拡散防止も屋内施設でないことや、基本的な対策を講じるよう市当局からもお話があつた、開催

しない理由が薄らいでしまつたのは事実。ということ、昨年末の実施方法を見直し、3密を避けるべき限りの内容で開催します。
横手市の佐藤茅葺店さんは、3年にわたり「つぎなにつくろう」という体験型イベントを開催してきました。テーマは「ゴドモオトナも楽しい！」ものづくりのおまつり。体験型ワークショップを中心に、チェーンソーアートやステイジではステイールパンなどの演奏、県内外から食の店舗も出店し、2日目早朝は座禅な

ども。「ティピー」という小さな茅葺屋根小屋づくりは茅葺職人お手のもので、いろいろと体験できるメニューは見ただけでウキウキ楽しそうないイベントなのです。今年はコロナの影響で中止にしたこともあり、お声掛け下さいました。とはいいつつも、冬は南の方に出稼ぎ(茅葺工事)にと日本全国飛び回つている茅葺職人さんは引く手あまたで、なかなか地元でゆっくりする時間がないそう、そんな中でも横手で行われているイベントのうちか

ら体験メニューを5種目持ち込んでいただけるとのこと、民俗村スタッフは色めきだつたのです。「小さなホウキをつくろう」・豆であそぼう・畑のリースづくり茅コースターを編もう・えんぴつをつくろう」の5種です。
小さなホウキづくりは、佐藤茅葺店の制作したYouTube、「つぎなにつくろう」でも収録されており、佐藤代表のお子さんが実際に作つているところが紹介されています。
<https://www.youtube.com/channel/UC91Z94KJMI dGfTXZJ-dA>

みちのく民俗村まつり

さあ紅葉の民俗村であそぼう！

11月8日(日)
10:00~17:00

民家で手作り体験

茅コースターづくり・えんぴつづくり・ワラ馬づくり

豆プレスレットづくり・小さなホウキづくり etc.

むかしの遊びコーナー

むかしの道具で脱穀体験

千曲こき・足踏み脱穀機・唐箕

民俗芸能門付け公演

相去鬼剣舞・行山流口内鹿踊・築館大乗神楽

歴史講談

おはぎ作り&振る舞い

似顔絵コーナー・キッチンカー

各体験コーナーには有料のものがあります

体験メニューは変更になる場合があります

新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします

お問い合わせ
みちのく民俗村管理事務所
TEL 0197-72-5067
info@michinoku-fv.net
岩手県北上市立花14-62-3



今年、展勝地レストハウス
の企画でクラフト市を開催
しました。羊毛の糸紡ぎ、牡
蛎の貝殻を使ったアローチ
づくり、切り絵づくり、張り
子の野菜づくり・シルバの
オリジナル指輪づくりなど
など。参加されたお客様から
はおかげさまで、好評いた
だき、別企画として「秋の
ワークシヨップ」も開催し、
同様に手作りの体験も行い
ました。

今回の民俗村まつりも手
作り体験中心に据え、企画
しましたので、お時間ご
ざいましたら是非共足をお
運びください。

なお、村人登録いただい
ている方には、少しばかりの
お気持ちをおプレゼントいた
してあります。まつり当日に
いらっしゃれない方でもダ
イジヨブですからご安心
を！



今年最後の「自然観察会」

今年6月から5回にわたり開催してきた自然観察会。講師の鈴木さんには「苦労掛けますが、観察会が終わるとすぐに次回ほどの辺を、どんな植物を案内しようかと、次の観察会に向け何度となく踏査し、歩いていただいています。あまり早いと観察会当日には咲き終わってしまふ花もあつたり、打合せが十分に出来まいないために草刈り作業で刈り取られましまふものもあつたり。もつともつと作業班との十分な打ち合わせや計画が必要だと痛感しております(ー;)」。

というわけで、今回は第4木曜日の11月26日10時から、茶屋集合で会費は保険代・弁当付きで一人1000です。奮つてお申し込みください。

今回の観察会をもつて今年はおしまひになります。講師鈴木さんによると12月と1月はお休みし、2月から再開する予定です。昨年2月にガイボラさんと職員向けに行った際には春に向け動き出す冬芽や、秋に落葉した際に付け根に残つている葉痕などを観察しました。あわよくば小



動物の足跡なども探してみましたが、この時は見つからず…。普段ですと雪が降った翌朝にはウサギやタヌキ、リスなどの足跡があちこちに見られます。冬には冬の楽しみがありますね。冬もお楽しみに！



秋の宝物 りたーん

「またまた採つたどお〜!!」民俗村の山手、陣ヶ岡から大きな声でうちの職員が叫びます。どしたじしたー?? 「見マ! 見マ! 見マ! 見マ!」とマーフィー岡田さんばりにドヤ顔で見せまくれたのが、山からの贈り物・マイタケでした。そのサイズは見マのとおり、ちよー巨大! 山の掟で詳しい場所は教えられませんが、キノコ探しに入つたわけでもなく、各地でクマの目撃情報が多発しているの巡回したところでした。見つけると踊りたくなるほどおいしい」とのことから「舞茸」と名付けられたと言われ、天然物は高値で取引されるようです。今年はキノコは豊作のようで、県北ではマツタケが例年より多く採れ、ニユースでは小学校の給食がマイタケづくしのところもあるとか。民俗村の園内でも例年よりも多く見受けられます。園内では以前から観察対象でもあったので採取をご遠慮いたさないまいようですが、いちいちチエックしているわけでもなく、キノコ好きの方には黙つて見ないでほしいですね。

ところであの巨大マイタケ、その後どこ



いったんだらう? 私たちスタッフの口に入らなかつたの言うまでもないが。よつて味はわからず:(*)



民俗村のこころが見どころ

いも爺がお勧め!

前号で予感としまご紹介しましたが、やっぱりシリーズ化しちゃいま。民俗村好きないも爺さんからの投稿です。

「恋が叶う? デートスポット」民俗村の園内には多くの池や水たまりがありますが、ななんと「ハート形の池」があることをご存じかな?。そこを二人仲良く自撮りをする「永遠の恋」が約束されるの伝説が…。パンフレットにも載つていないポランティアがイドさんも教えまくれないデートスポットです。ぜひ二人仲良く園内を探し回つてみましょう。

いも爺

